

教育方針	「どこに出しても恥ずかしくない人間になれ」「国家社会の役に立つ人間になれ」	重点目標	人としての自立と社会貢献を目指し、夢に向かう生徒の育成 - チャレンジ! 一歩前に -  <input type="radio"/> けじめと活気のある学校 <input type="radio"/> 確かな力をつける学校 <input type="radio"/> 地域に開かれた学校 <input type="radio"/> 安全・安心な学校
	【指導方針】 一人一人の生徒を見つめ、ゆさぶり、励ましを与え、たくましく生きる力を育む教育の推進 1 豊かな心情をもった節度のある人づくりの推進 2 自ら学ぶ態度を身に付けさせる教育の推進 3 健康で明朗な心身の育成を図る教育の推進 4 チャレンジ精神を育む教育の推進		

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
1 学校経営	学校教育活動の公開と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日ホームページを更新し、内容の充実を図る。</li> <li>各課の刊行物を定期的に発行し、ホームページへの掲載をタイムリーに行う。</li> <li>新聞社・ケーブルテレビ等関係報道機関に情報発信する。</li> </ul>			
	教職員の意識統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の重点努力目標を理解し実践する教職員100%。</li> </ul>			
	P T A 活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある行事の工夫と保護者デー・学校行事などへの積極的な参加の呼びかけを行う。</li> </ul>			
2 学習指導	教科指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒による授業評価も参考にしながら、分かる授業・達成感のある実習等の展開に努めるとともに、生徒が意欲的・積極的に授業に取り組む態度を養う。</li> <li>生徒ひとりひとりを見つめ、教科担任とHR担任等で連携をとりながら個々の学力に応じた学習指導に努める。</li> <li>教科学習指導計画表を基に、進度に無理が生じないように計画的な学習指導に努める。</li> <li>授業公開日を年間6日以上設定するとともに、教員相互の授業参観も取り入れながら自己研鑽に努める。また、授業参観者が増加するための対策を立てる。</li> </ul>			
	家庭学習習慣の定着及び基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間調査を活用して定期考査期間の学習意識の向上に努める。また、普段から随時課題等を与えて事後指導も徹底することで、家庭学習習慣の定着を図る。</li> <li>漢字テスト平均点85点以上や数学計算テスト平均点75点以上などの具体的な目標を持たせることで、自主的に学習に取り組む態度を養い、基礎学力の定着を図る。</li> <li>安易に欠席・遅刻・欠課・早退をせず、1か年皆勤者率60%以上を目指す。また、皆勤を達成できなくなった場合も、欠席等が増えないように努めさせる。</li> </ul>			

3 生徒 指導	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやかで気持ちの良い挨拶や返事、正しい言葉遣いができる生徒を育成する。</li> <li>・家庭との連携を深め基本的生活習慣を確立し、問題行動の未然防止と早期発見に努める。</li> </ul>			
	個別指導の充実と教育相談の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談を一人年間4回以上実施し、きめ細かい心の通う生徒指導に努める。</li> <li>・家庭との連携を深め、不登校生徒の未然防止と早期発見に努める。</li> </ul>			
	自ら行動できる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則が遵守できる判断力のある人間の育成に努める。</li> <li>・誰が見ても端正で清潔感のある身だしなみが自主的にできる学校づくりを目指す。</li> <li>・交通ルールやマナーを守る態度を醸成し、登下校中の交通事故ゼロを目指す。</li> <li>・教室の整理整頓や、施錠を確実にできる態度を養う。</li> <li>・携帯電話のルール・マナー・モラルを持って使用できる生徒を育成する。</li> </ul>			
4 特別 活動	部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率90%以上を目指し活性化を図り、学校を元気にする。</li> <li>・県高校総合体育大会出場者50人以上を目指す。</li> <li>・県高校総合文化祭出場者50人以上を目指す。</li> </ul>			
	豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動などへの自主的な参加を促し、一人年間2回以上の参加を目指し、公共心や思いやりの心を養う。</li> </ul>			
5 進路 指導	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場見学や社会人を活用した講習会などを通して、具体的で実践的な進路学習を図る。</li> <li>・一年次より望ましい職業観や勤労観を育成し、進路実現へつなげる。</li> </ul>			
	就職指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問を積極的に実施し、また、職安等の関係機関と連携をとることにより求人確保に努める。</li> <li>・応募前職場見学の参加によって、生徒に自主的・意欲的な就職活動の実践を指導する。</li> <li>・ガイダンスを実施して意識の高揚を図り、資格取得の推進など生徒に意欲喚起し向上を目指す。</li> <li>・以上の取組を通して、就職希望者の決定率100%を目指す。</li> </ul>			
	進学指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に進路目標を設定させ、一人一人に応じた細やかな個別指導を徹底することで生徒の資質の向上を図り、進学希望者の合格率100%を目指す。</li> </ul>			

6 農業 教育	資格指導を充実させ確かな力量を確保	・1人1資格以上の取得を目指す。			
	農業クラブ活動の充実	・各種発表並びに各種競技県大会の全部門入賞、及び全国大会出場を目指す。			
	地域に開かれた学校	・農業祭や地域行事に積極的に参加し地域住民との交流1万人以上を目指し、地域に貢献する生徒を育成する。 ・大農開放講座やバイテク講習など、学習の成果を地域に披露するイベントを年間5回以上開催し、地域の住民に開かれた学校づくりに努める。 ・大農うきうきわくわくスクール運営参加生徒100名以上など学校間連携に努める。			
7 環境 教育	豊かな自然を大切にす る心の育成	・環境美化に努め、緑豊かで潤いのある学習環境づくりに努める。			
	身近な環境問題の解決 に主体的に取り組む生 徒の育成	・清掃活動5分前移動100%及び清掃活動の充実を図り、校内ゴミ0（ゼロ）を目指す。 ・美化活動に努め、汚せない環境づくりをする。 ・省エネを心掛け、地球温暖化防止に取り組む知識や態度を養う。			
8 人権 教育	平和と人権を大切にす る心の育成	・人権委員会の活動を活発にし、校内の人権意識の高揚を図る。 ・教育相談アンケートを1学期は2回、2・3学期はそれぞれ1回ずつ実施し、生徒が抱えた悩みの実態を把握するとともに、いじめの早期発見・早期解決を図る。			
	家庭や地域と連携した 活動の推進	・人権教育HR活動の公開授業の実施や「人権だより」の定期的発行と保護者への配付を通じて、地域や家庭と連携した人権教育を推進する。			
9 情報 教育	情報活用能力の育成	・アプリケーションの活用技術を向上させ、授業や日常生活等で得られる多様な情報を、取捨選択・加工・整理・活用できる能力を養う。			
	情報モラル・コミュニ ケーション能力の育成	・パソコンやスマートフォン等を用いたインターネット、特にSNSの利用について指導し、情報モラル・コミュニケーション能力の育成を目指す。			

10 図書 指導	読書習慣の定着	・朝の読書活動を通して活字メディアへの興味・関心を高め、日常生活の中で読書に親しむ態度を育てる。			
	図書館利用の推進	・図書委員会による掲示物の工夫や読書感想文発表会の実施、図書館だよりの充実などの読書啓発活動により、より多くの生徒の図書館利用を推進する。			
11 学校 保健 学校 安全	健康な生活習慣の定着	・生徒保健委員会の活動及び保健だより（月1回）の発行により、生徒の健康実態に即した情報提供を行う。 ・生徒一人一人が自らの健康に関心を持ち、疾病の予防及び早期発見、早期治療に繋がられるよう、関係教職員と連携を図りながら啓発を行う。			
	学校の安全管理の徹底と学校環境衛生の充実	・定期的な安全点検（月1回）と実践的な避難訓練を実施し、安全のために自ら考えて行動できる能力や態度を育成する。			
12 学校 行政	計画的な会計処理の執行と経費の削減	・購入品目を厳選し、予算を効率的に執行する。 ・光熱水費の節約を推進する。			

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。